

とねの絆

第25号
古河市第13地区
発行
令和8年2月28日
とねの絆
広報委員



第13地区コミュニティ

地区長 鎌仲 英俊

新年、明けましておめでとう
ございます。令和8年は「うま
年」しかも60年に一度の「丙午
(ひのえうま)」です。出生数が
少ない年と言われており、少子
化がどうなるのか心配です。
昨年、令和7年は「昭和百
年」にあたる年でした。自分を
振り返って、昭和・平成・令和
と三つの時代を生きてきたのだ
と改めて感じた年でした。昭和
の時代には無かった「液晶テレ
ビ」デジタル放送で画像も格段
にきれいになり、「スマートフ
ォン」はとても便利で情報の
他、音楽を聞いたり、情報発信
もでき、銀行アプリや色々なア

プリがあり小さなコンピュータ
が手の中にあるそんな感じで
す。連絡手段も「ライン」等を
使って今や必需品になっていま
す。世の中とつても便利になり
ました。時々「昭和」の時は
良かったなあと思ふ時があり
ます。昭和の頃は、もともと子
供の数も多く、道路や公園でう
るさい位に子供の遊ぶ声がし
ていました。買い物もスーパーマ
ーケットがない頃は近所の八百
屋さん、魚屋さん、肉屋さん、
豆腐屋さん、焼き鳥屋さん、雑
貨屋さんとか個別の店が多くあ
り、店先で今日はこれが安い
よ、美味しいよとダミ声のおや

じさんを思い出します。そうそ
う駄菓子屋さんには10円玉持っ
た子供たちが沢山集まってま
した。近所付き合いもつと深
く、道端での世間話や助け合
いも多かった記憶が残っていま
す。正月も今と違って三が日は
店がほとんど休みになってい
て、車も少なく道路で風揚げや
独楽回し羽子板もやっています
。今はこういう正月風景も見
れなくなつて寂しいですね。
「少子高齢化」「円安」米高
騰などの「物価高騰」「世界情
勢の不安」など暮らさずらさ
もあります。昔を思い出して「昭
和の近所付き合い」をちよつと
心掛けてみようと思つた午年の
一月でした。



地域防災勉強会

13地区防災委員長 知久 貴
日頃より皆様の地区コミュニ
ティの運営に対してのご理解と
ご協力に感謝いたします。昨年
は年初から能登半島地震が起き
多様な被害が出た事は記憶に新
しいところです。このような理
由で防災委員会では地震への備
えについての勉強会を開きまし
た。今回は、水海小プロジェクト
のご協力により能登の現状報
告があり、針谷市長からも防災
についてお話を頂きました。
また、市消防防災課の石井さ
んの出前講座では、家の中の点
検や備えたい物品、家族との連
絡方法の話など180名の参加者
と共に勉強しました。いつ起き
るかも知れない地震に対し日頃
から備えをしましょう。正に「備
えあれば憂いなし」です。

能登半島被災地支援団体の話

○能登半島被災地支援団体の話
奥平 謙二
5月～9月 (コミュニティ再生支援 震災当初)
1月～4月 (命を繋ぐ支援)
能登町の特徴なのか、なかなか
か二丁があがってこなかった
のでサロン活動を行った。
「なんで能登ばかり」とメン
タルが落ちていた。
家がきれいになっていくと、
また住みたいというようにな



つていく
・当たり前が幸せだと気づいた
・平時から横の繋がりが大切。
○能登半島被災地支援ボラン
ティアに参加した中学生・高校
生の話
・土砂のかき出しをやつたが大変だ
・中学生なので、幼稚園にいっ
てダンスをしたり、歌を聞い
てきたかな。
○消防防災課・石井防災官の話
・自助・共助・公助があるが自
助が重要。
・阪神淡路大震災でも公助は遅
れる。
・古河市の震度は6
が想定さ



功労感謝の会

シルバリーハピリ体操
砂井新田行政区 鎌仲 英俊
毎月定例会を開いています。9
月は功労感謝に因んでシルバ
リーハピリ体操に取り組みま
した。当日は古河市シルバリー
ハピリ体操指導士会から指導士
に来ていただき指導を受けまし
た。結構、関節や筋肉も動きま
した。日々の生活の中で動ける
ということが大変重要であり、
みんな一緒にやるといことが



・真夜中に地震が起きたことを
想定すると家具の固定、寝て
いる場所の近くに靴をおいて
おく。
・その他、水や飲食物など備蓄
しておく。
・次に共助だが、「一番の防災
はあいさつ」といわれるよう
に地域のコミュニケーション
をとつておく。
・地域で自主防災組織をつく
つて欲しい。
○消防第15・16分団活動報告
・日頃から火災・水害に備えて
訓練を行っている。
・消防ポンプ車の維持管理。
・消火栓、防火用水の点検。
・実際の消火活動のみならず火
災発生周辺の交通整理も重大
な仕事。
・草場がこの地域には多いので
たばこのポイ捨てなどは絶対
にやらないようお願いした

・春・秋の火災予防運動では、
ポンプ車で地域をめぐり、火
災予防を呼びかけています。
・古河市には消防団は27個分団
であり、定員は15名であるが
定員減の分団も少なくない。
・5名の分団もある。
・団員はほとんどが会社員が多く
兼務でしている。
・勧誘活動に協力して欲しい。
・定員を維持し、地域の安全を
考えてほしい。



心の安定に繋がるといことに
気づかれました。 桜井 一夫
内水海行政区
今年度から13地区の紅白饅頭
配布はなくなり、各行政区で配
布することになりました。また
10月4日に6年ぶりに功労感謝
の会が開催されました。本来で
あれば女性部の人達の吸い物や
手料理を作って頂きましたが、
女性部も無くなり、行政区役員
主催で行われました。今年も
当、飲み物、茶菓子のみとなり
ました。功労感謝の会も大勢の
方が集まり、カラ
オケや歌
謡ショー
荻野のり
子他3名
の方が歌
を披露し
て下さい
ました。
参加者の
皆さんも
歌を熱心
に聞き、



祝 功労感謝の会 高野行政区

※ある道(専門分野)を極めた人の執念
やこだわりが並々ならぬものである
最後に荻野のりさんが歌を歌
い、感動されて涙ぐむ方も見受
けられました。来年もコロナ、
インフルエンザが流行しない限
り、行政区として功労感謝の会
を続けて行きたいと思ひます。
功労感謝に思うこと
高野行政区 吉沼 明夫
新型コロナウイルス感染症の流行に依
り中断していた功労感謝の会が
敬老の日併せて昨年より再開
されました。今年も又大勢のお年寄
りが参加して賑やかに開催され
ました。老人といえども元気で
す。大いに飲み食い、そして歌
い踊りと存命の喜びを十分に楽
しみました。
ここでは学校の成績も会社で
の役職も笑い話でしかありませ
ん。嬉しかった事、楽しかった
事、或いは辛かった事、悲しか
った事と様々な事がありました。
時には命にかかわるような
事もありましたが、※道に堪能
の執事からぬことと思ひ知らさ
れて今ここにいます。
寒さに震えた者達に祝福あれ
人生の悩みを潜りぬけた者達
に安らぎあれ



関東ド・マンナカ祭り

10月11日・12日、古河市イースト中央運動公園で、第27回古河関東ド・マンナカ祭りが開催されました。

11日は小雨の為、午前中だけとなりました。ダンスや演奏パフォーマンス・ダンス「ステイジイベント」です。書道部は「夢」と書いて披露されました。

12日は「民族芸能のつどい」ということです。山車みこしの練り歩きなど観客が一体となり、又おはよしの演奏が披露され伝統的な行事を通じて地域の繋がりを感じました。町内ごとのデザイン・装飾などが施されていました。

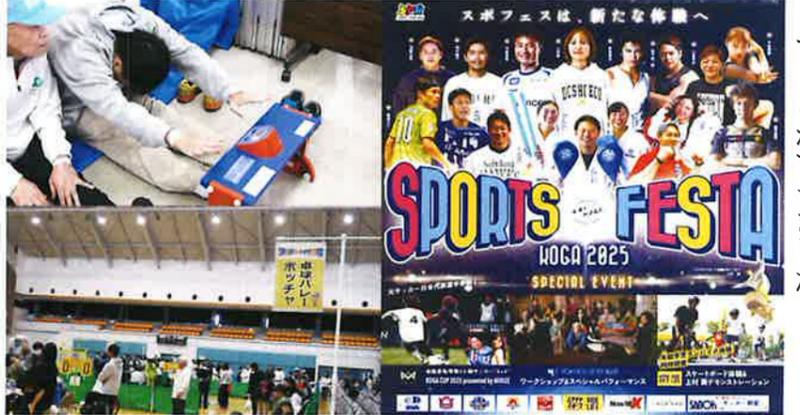


スポーツフェスタ

KOGA2025

11月3日、イーエス中央運動公園でスポーツフェスタが開催されました。中央公民館、運動場、サッカー競技場、体育館などで各種運動を体験することができました。健康にやや不安を持っていたので体力測定に取り組みました。上体起こし、長座体前屈など6種目をしました。骨密度の検査では最良の評価を頂き、気をよくして太極拳や卓球など様々な競技を楽しむことができました。特設ステージでは、武田真治さんのマッスル体操を見学しました。当日は晴天で心地よい疲労感ある一日を過ご

ごすことができました。



ふくしまつり

11月22日、ゴヨールふれあいスポーツセンターで第4回ふくしまつりが開催されました。「社会福祉やボランティア活動についての啓発、世代や障がいを超えた参加者の交流により、支え合いの大切さを学ぶ」ということで4回目の開催です。ボランティアの皆さんによる模擬店や体験コーナーが様々設置され福祉についての理解を深めることができました。午後からは「心の傷を癒すこと・劇場版」を視聴しました。阪神淡路大震災時に被災者に寄り添われた医師の物語です。心のケアに尽力された姿に感動しました。



マイステージ

11月11日、ユーセンターK1が防水にて令和7年度マイステージが開催されました。今回で通算37回目となる第8区から第14地区の皆さんが「歌と踊り」で親睦・交流を図る目的で開催されました。我が第13地区では、内水海地区の末永栄さんが叙情豊かに「大阪みれん酒」を熱唱され、高野行政区の落合満さんは着流し姿で「浪速しぐれ」桂春団治」を絶唱されました。前林行政区の小川



ありがとうの会

12月24日、学校支援ボランティアありがとうの会が開かれました。水海小未来プロジェクトに参加している見守り隊、家庭科・音楽科補助、読み聞かせ、環境・持久走ボランティアの方々に体育館で学校、児童の皆さんから感謝の気持ちを伝える催しを開いて頂きました。「ビリーブ」の歌の披露とマスクをプレゼントして頂きました。



市民総ぐるみ一斉清掃

本年度の13地区行政区の市民総ぐるみ一斉清掃が、春は5月18日、秋は11月16日に行われ、1、2時間程度の清掃活動でしたが、役員の方々の準備や参加住民の皆さんの効率のよい取り組みでスムーズに進められました。普段から地域をきれいにしようとする意識が高い地域ですので短時間で終わることのできたのだと思います。「掃除は心を磨く行為」と言われますが、13地区の皆さんによって13地区が磨かれました。



新4号国道クリーン作戦

北新町行政区 水町 利郎 1月25日、厳しい寒さの中、第13地区では内水海・高野・北新町の3行政区の58名の人が朝9時に集結し、それぞれの担当の沿道に分かれて国道新4号の清掃作業が実施されました。今年もモラルのないゴミもありましたが、私もイベントの時だけですが、普段からきれいな街を持続する為ゴミを拾おうと思



町水海行政区第3町内新年会・弥栄の年に

町水海行政区 羽部 正男 3年間続いたコロナで開催することができなかった新年会を開催して3回目になります。町水海第三町内会では、一年のはじめに地域の弥栄を願って1月4日に新年会が行なわれ、近所の皆さんと顔を合わせ、ご近所のことでお互いの様子を確認し合うことができ、和やかな雰囲気や地域を包む気がします。新年会の前に新役員の選出が行われるのですが、毎回内会が住民の協力のもと、絆が繋がっていると感じます。



三島神社どんと焼き

町水海行政区 能城 忠雄 今年度の三島神社の恒例行事は以下の通りです。

春季例祭 4月13日
 秋季例祭 11月9日
 ・初詣 1月1日
 ・どんと焼き 1月14日
 ・昔は、前林でどんと焼きの火が見えると三島神社でも負けじと、お焚き上げが始まったのだそうです。
 ・炎も3mくらい立ち上ったこと。神社の拝殿でその年の年男が菓餅、小銭もまかれたそうです。そのお金で近所のお店で飴を買ったのも子供の頃の懐かしい思い出というものでした。



葛飾坂東御開帳

町水海行政区 能城 忠雄 令和8年は十二支の午年にあたり、3月18日から4月17日の1カ月間にわたり葛飾坂東御開帳がおこなわれます。この仏教の巡礼行事は正徳四年から続けられ、西国などの遠方へ参拝できない人々のために御開帳され、馬は観音さまの眷属(お供をする使者)と言われることから、午年ごとに行われます。御開帳の期間中、通常閉じられている観音様の扉が開かれその御姿を直接拝顔することができ

編集後記

広報紙の作成をしようと思いましたが、関東ド・マンナカ、ふくしまつりの活動に13地区の皆さんが受け手としてだけでなく、主催する立場としても参加していることに気づかされました。25号発行に際して、13地区のみなさんに様々な協力頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。町水海行政区 能城 忠雄